

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、地域の高齢者を支援する事を目的として、横浜市のみには様々な介護サービスを展開している。 当事業所は、訪問回数を多くして、独居の方、日中独居の方の見守りを行なえる体制をとっている。きめ細やかなサービスを提供している。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 すいせん	管理者	早瀬 清		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の改善計画をリスト化して、実行、報告できるようにする。	自己評価の改善計画のリスト化したが計画通りすべてでできなかった	改善リストを作成し自己評価内容改善に取り組んでいる姿勢がみられる	自己評価改善計画で出来なかった点を次年度改善していく
B. 事業所のしつらえ・環境	各居室の障子が、破けやすいので、適宜修繕していく。	各居室の担当者決めて定期的に破れた障子の張り替えをしたが、車椅子利用者の自操時の方向転換時に障子が破けてしまう為、そこはカーテンでの対応とした	各居室の担当者を決めて、いつ、だれが対応することを決めたことで定期的に環境整備が整えられる	障子の破れだけでなく環境整備を定期的にしていく仕組みをつくる。
C. 事業所と地域のかかわり	朝礼で、挨拶をするように指導は継続する。 地域の方々にすいせんの活動を知ってもらうように、広報(すいせん便り)を地域連絡会と回覧板に継続配布する。	地域密着した施設として挨拶の重要性は伝えていた。すいせんの広報として「すいせん便り」を2か月に1度のペースで発行して回覧板で地域に配布している	広報(すいせん便り)はとてもキレイで見やすくいいと思う。	地域の関わりとして、ケアラサでのカフェ参加と夏祭り・秋祭りの参加と出店だけでなく、もう少し地域活動に参加していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	各ご利用者の地域の夏祭りに参加してもらえるように企画していく	担当者会議に民生委員や近隣の方に参加してもらうのは、個人情報保護の観点と、時間調整困難なため実行できず。 ご利用者に地域の祭りやサロンに参加してもらえた。	担当者会議に民生委員や近隣の方が参加するのは難しい。 ご利用者は以前よりも更に地域に良く出ていると思う。	地域の行事に参加できない利用者さんは、すいせんのある加賀原地域の行事に参加してもらう
E. 運営推進会議を活かした取組み	ご利用者以外の地域の方々の事例を取り上げる。 他区の情報等、共有できる事を提供していく	ご利用者以外の地域の方の事例検討を取り上げて、すいせんとの関わり方など意見をもらった。	運営推進会議で、利用者以外の地域の方の事例検討を話し合った。 他の地域のボランティアや包括の活動事例を紹介、情報提供してもらった。	運営推進会議を生かした取り組みとして、引き続きご利用者の事例を通じて共有できる情報交換をしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災計画を運営推進会議で公表する。地域の防災訓練に職員が参加したとき、報告する。事業所の避難訓練に運営推進会議委員に参加してもらう。</p>	<p>地域の防災訓練に参加し、報告した。 事業所の 11 月の夜間想定避難訓練で、消防署と消防団に指導してもらい、委員に参加してもらった。</p>	<p>地域の防災訓練に参加したか、報告を受けたか定かでない。 事業所の 11 月消防署と消防団に指導してもらう避難訓練は定例化している。継続するといひ。</p>	<p>地域の防災訓練に参加する。 11 月の夜間想定避難訓練で消防署と消防団に指導してもらい、運営推進委員に参加してもらう。</p>
----------------------------	---	---	--	--

2018 年度（平成 30 年度）実施